



たんぽぽ組クラス共同製作 「ぐねぐね道とトンネル」

ねらい：◎クラスの友達と共通のイメージをもち、一緒に活動することを楽しむ。

【バムとケロのもり】ってどんなところなのかクラスのみんなで考えてみました。絵本を見ながら物語の世界をみんなで想像し…「もりごやままでのまっすぐの道があるよ」「いや、ぐねぐね道もあるかも」「トンネルもあるんじゃない?」「まつぼっくりとかつばきとかもあるかも♥」と様々な声がたんぽぽ組の子どもたちから聞かれました。その中から「みんなでぐねぐね道とトンネルをつくろう!」ということになりました。次はどうやってつくるかの相談会が始まりました。子どもたちの意見を聞きながらホワイトボードに描いていく中で「分かれ道とかあっても良いかも!」「それいいね!」と考えやイメージがクラス共通のものとなってきました。

<ダンボールカッター編>

好きな時間に興味のある友達に使ったことのあるダンボールカッター!今回は一人一つ持ってダンボールを切ることに挑戦!最初はダンボールカッターの使い方の約束を聞き、実際に切ってみると…「ダンボールが硬くて切れない💧」と言う友達もいましたが「こうやって押さえると切れるよ」と友達からのアドバイスを受け、頑張って切れた時のパッと輝くような笑顔が見られましたよ。トンネルやぐねぐね道のダンボールを切り抜きしていくと「空いたよ～おーい!誰かいる?」「はーい♥」とダンボール越しに友達とやりとりしている姿がまた可愛かったです😊

子どもたち同士で「ここに誰かいる?」と声を掛け、誰もいないことを最初に確かめて気をつけながら活動をしている姿が見られました。道具の正しい使い方や安全に使うことをもう一度みんなで確認しながら、切る楽しさを感じることができたのではないのでしょうか。また、今までハサミで切れなかったものがダンボールカッターを使うことで思っていたように切れるようになったことで表現の世界が広がり、「もっとつくってみたい!」「こういう形にしてみたい!」というイメージがますます膨らむようになるのではないかと子どもたちの姿をみて感じました。今後、日々の遊びの幅も広がっていくでしょう♥今からとても楽しみです😊





＜ぐねぐね道とトンネルの合体＞

みんなで沢山ダンボールを切ったり、本物の葉っぱをつけたりと子どもたちのイメージのダンボールのトンネルができました！ところが…重さや穴が沢山あることでダンボールが倒れてしまったのです。子どもたちとトンネルをどうするかみんなで相談。「棒とかつけたらいいんじゃない？」「石とか置いたら立つかもしれないよ」など様々な声が上がりました。たんぽぽ組のみんなと運転者の小野寺さんと一緒に棒とガムテープをくっつけたり、スズランテープを使って結んだりしました。すると…「おー立った！」「いいね💡」「押すと倒れるから押さないでね」と声を掛け合う姿もありました😊

今回の活動を通して、自分の思いを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら活動を進めていく中で、自分とは違う考えに触れる機会になったように思います。友達のアイデアに耳を傾け、自分にはなかった考え方に気付いたり、「それもいいね！」と受け止めたりする姿もありました。また、一人ではできないことも友達と一緒に行うことで大きな物が出来上がり、友達と一緒に活動すると楽しさを感じることができたのではないのでしょうか。出来上がったトンネルに友達と完成を喜び合う姿があり、とっても満足そうな子どもたちでした。



たんぽぽ組のみんなで頑張って協力して完成した【ぐねぐね道とトンネル！】
バムとケロの森への入口に展示してあります！子どもたちが作った世界観を楽しみにご覧くださいね！ぜひ、【ぐねぐね道とトンネル】を通ってみてください♪